

# 第5学年国語科 学習指導案

河内長野市立小山田小学校

1. 日時 令和6年6月7日(金)
2. 学年 第5学年2組(29名)
3. 単元名「言葉の意味が分かること」
4. 単元目標
  - (1) 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(知識及び技能)  
(2) ア
  - (2) 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解することができる。(知識及び技能) (1) カ
  - (3) 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(思考力、判断力、表現力等) C (1) ア
  - (4) 文章から引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(思考力、判断力、表現力等) B (1) エ
  - (5) 粘り強く文章全体の構成を捉えて要約し、筆者の考えに対する自分の考えを発表しようとする力「学びに向かう力、人間性等」

## 5. 本単元で取り組む言語活動

筆者の考えと自分の経験を結び付けて、自分の考えを書く。

## 6. 単元の評価基準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 原因と結果など情報と情報との関係について理解している。(2) ア</p> <p>② 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。 (1) カ</p>	<p>① 「読むこと」において事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。C (1) ア</p> <p>② 文章から引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B (1) エ</p>	<p>粘り強く文章全体の構成を捉えて要旨を把握し、学習課題に沿って、筆者の考えに対する自分の考えを発表しようとしている。</p>

7, 単元の指導と評価の計画

時	学習内容	学習評価 (◎記録に残す評価○指導に生かす評価)			
		知技	思判表	主体	評価規準・評価方法等
1	<p>●単元の目標とゴールを知り、学習の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・題名から考えたことを話し合う。</li> <li>・文章の要旨を捉え、自分の考えを発表するゴールを伝える。</li> <li>・「見立てる」を読み、筆者の考えを押さえるために筆者の考えに赤線を引き、「初め」「中」「終わり」の文章構成を検討する。</li> <li>・これまでに学習した「要点」「要約」を想起し、「要旨」の定義を知る。</li> <li>・これまでに学習した事例の取り上げ方や段落の構成に着目しながら文章の要旨を捉える。</li> </ul> <p style="text-align: right;">構造と内容の把握</p>	○		○	<p>【知・技】〈行動観察・ノート〉</p> <p>【主】〈行動観察・ノート〉</p>
2	<p>●筆者の考えと、その説明のしかたについて考える。精査・解釈</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「見立てる」を読み、「見立てる」「想像力」「関わり」などのキーワードを選び出す。ワークシートにまとめる。</li> <li>・筆者の考えがまとめられている段落を見つけさせる。①と⑥双括型赤線をひく。</li> <li>・要旨を百字で書いてまとめる。</li> <li>・筆者の意見に対して、共感・納得・疑問で自分の考えを表し、具体的に身近な例を挙げさせる。</li> <li>・自分の考えを伝え合う。</li> <li>・「言葉の意味が分かること」を教師が範読し、感想を書き伝え合う。</li> </ul>		◎		<p>【思・判・表②】〈行動観察・ノート〉</p>
3	<p>●「言葉の意味が分かること」を読み、学習課題を確認し、学習の見通しをもつ。</p>	◎			<p>【知・技①】〈行動観察・ノート〉</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の考えが述べられている部分に線をひき、それを手掛かりにして各段落の内容を簡潔にとらえ「初め」「中」「終わり」に分ける。①と①②双括型</li> <li>・「中」の事例の内容を考えることで構成を検討する。</li> <li>・キーワード「広がり」「はんい」「面」「見直す」を選び出す。</li> </ul> <p style="text-align: right;">構造と内容の把握</p>				
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>●筆者の考えが書かれた文章を見つけ、要旨を150字以内でまとめる。</li> <li>・「初め」と「終わり」は、どのような役割を持っているか考える。</li> <li>・「見立てる」での学習も想起し、要旨を捉えるうえで大切なキーワードや主張が書かれた段落を確認し、共有する。</li> <li>・「言葉の意味が分かること」の要旨を150字でまとめる。</li> <li>・書いた要旨をグループで読み合い文意が通じるか、適切なつなぎ言葉や重複していないかなどを確かめる。</li> <li>・アドバイスを基にして書き直す。</li> </ul> <p style="text-align: right;">構造と内容の把握</p>	○		○	<p>【知・技①】〈行動観察・ノート〉</p> <p>【主】〈行動観察・ノート〉</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2つの事例について、原因とその結果という関係で整理する。</li> <li>・原因と結果の関係について知る。</li> <li>・2つの事例を読み取り、内容と示し方を整理する。</li> <li>・原因と結果の関係で事例を理解する。</li> <li>・中の事例について共感・納得・疑問に思ったことや経験を出す。</li> <li>・「終わり」に述べられた筆者の考えと事例の関係を捉える。</li> </ul>		◎		<p>【思・判・表①】〈行動観察・ノート〉</p>
6 本 時	<ul style="list-style-type: none"> <li>●筆者の考えに対する自分の考えを、自分の経験を結び付けて書く。</li> <li>・自分の考えをまとめるうえで大切なこ</li> </ul>		◎	○	<p>【思・判・表②】〈行動観察・ノート〉</p>

	<p>とについて確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めの感想と今の考えを、理由とともに、ペアで話す。</li> <li>・筆者の考えや、事例の示し方について、共感・納得・疑問という立場を示す。</li> <li>・筆者の考えや事例の示し方に対して、体験、知識とを結び付けて、自分の考えを書く。</li> </ul> <p><b>考えの形成</b></p>				
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分の考えを発表し、交流する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の考えや事例の示し方に対する自分の考えをグループで発表する。</li> <li>・自分の考えと比べて聞き、共通点、新たに気付いたこと、疑問に思ったことをメモに書く。</li> <li>・単元で学んだ要旨をまとめるときに大切なこと、自分の考えをまとめるときに大切なことをふり返る。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>共有</b></p>	○		◎	<p><b>【主】</b>〈行動観察・ノート〉</p> <p><b>【知・技②】</b>〈行動観察・ノート〉</p>

## 8. 本時の展開

### (1) 本時の目標

筆者の考えや事例の示し方に対する自分の考えを、自分の経験や体験、知識とを結び付けて書くことができる。

### (2) 本時の評価規準

筆者の考えや事例の示し方に対する自分の考えを、自分の経験や体験、知識とを結び付けて書いている。思B(1)エ

### (3) 本時の判断基準

おおむね満足できる状況 (B)	努力を要する状況 (C) への支援
共感・納得・疑問に思ったところは、筆者の考えのどの部分か、あるいはどの事例の示し方なのかを示し、自分の思ったことを経験や体験、知識と結び付けて書くことができる。	筆者の考えや事例のどこに共感・納得・疑問なのかを確認し、それがどんな自分の経験と結びついているかを書くことよいことを伝える。
具体的な児童の姿	具体的な手立て

<ul style="list-style-type: none"> <li>・共感・納得・疑問に思ったところは、筆者の考えのどの部分か、あるいはどの事例の示し方なのかを示すことができる。</li> <li>・自分の思ったことを経験や体験、知識と結び付けて書くことができています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要旨を捉えられるように、筆者の考えが「初め」「終わり」に書かれていることを理解させる。</li> <li>・「見立てる」の構成をヒントにできるように提示し、ふり返らせる。</li> <li>・構成が分かりやすい表にまとめさせる。</li> <li>・セルフチェックシートを用意し、自分で文章を読み返しやすくする。</li> </ul>
---	---

9, 本時の学習過程 (6/7時間目)

時	児童の学習内容と活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
導入 8分	①前時までの学習をふり返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読をする。</li> <li>・要旨の確認。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要旨をまとめたことを確認する。</li> </ul>	
展開 5分	<b>㊦ 筆者の考えに対する自分の考えをまとめよう。</b>		
5分	②本時のめあてを確認する。 ③自分の考えをまとめるうえで大切なことについて確かめる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・例文のプリントに構成の①～⑤の番号をふりながら、構成を確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初め、中、終わりの構成と、内容について確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           ①筆者の考え            ②①に対する自分の考え (共感・納得・疑問の立場がわかるように)            ③②を支える自分の体験や知識などの事例            ④自分の事例から考えたこと            ⑤これからについて         </div>	積極的に文章を書こうと取り組んでいる。 主 (記述・発言)
4分	④前時に挙げた自分の事例から、どんなことを考えたかを3人組で話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の基準を伝える。</li> <li>・前時のワークシートに書く。</li> </ul>	
3分	⑤事例から考えたことを発表する。		

18分	⑥自分の考えをまとめ、書く。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>☆筆者の考えや事例のどの部分についてかが書けている。</p> <p>☆共感・納得・疑問のどの立場なのか分かるような自分の意見が書けている。</p> <p>☆自分の経験や知識を結び付けて書けている。</p> </div> <p>☆自分が考えたことについて書けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●机間指導を行い、支援が必要な児童にはヒントを与える。</li> <li>●チェック用紙を使用し、自分の文章を見直しさせる。</li> <li>●思ったことにつながりがあるか、ポイントを書けているか確認させる。</li> </ul>	筆者の考えと経験や体験、知識とを結び付けて、自分の考えをまとめている。◎【思】(記述)
5分	⑦文章が書けたら、チェックシートでセルフチェックをする。		
	⑧書いた文章を発表する。		
まとめ 2分	⑨学習をふり返り、次時の見通しをもつ。	・ふり返りをし、次時は、文章を読み合い、推敲して完成させることを伝える。	

つきたい力 要旨を捉える力

自分の立場を明確にして、文章に対する自分の考えをまとめる力

考えの形成・書くための手立て(単元を通して)

- めあてを具体的に書き、ふり返りを書く。
- 自分の例を考えさせる。
- 評価を伝える。
- 構成メモで整理する。